

坂井市農・地・水's - 愛

～ 集落委員会 共同活動紹介 広報誌 ～

春江町西太郎丸（にしたろうまる）は、春江町西部に位置し、区域内にハートピア春江、春江西小学校、えちぜん鉄道太郎丸駅を有し混住化が進む農村集落です。多面的機能支払交付金活動も8年目に入り、女性の皆様のご協力を頂き、初めて彼岸花や色とりどりのベコニア・芝桜等を畦畔に植栽しました。共同活動を通じて地域景観は大きく改善したといい、また、労いの言葉も頂くことがあります。地域を愛し、みんなが協力しコミュニティを育む共同活動に心からお礼申し上げます。



表紙テーマ：ワイワイガヤガヤの共同活動です。（2025/4/27 西太郎丸美土里会）

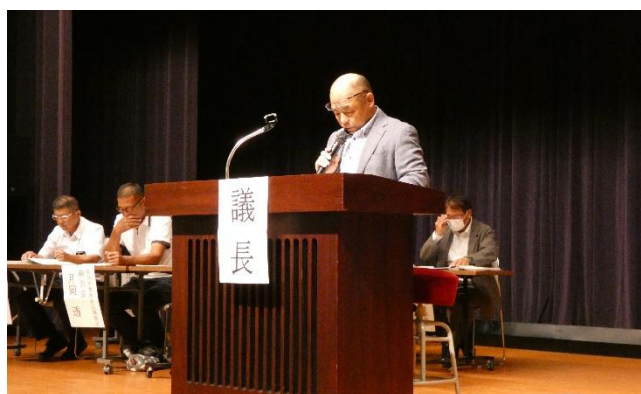
頁	内 容（令和7年度テーマ：みんなでつながろう）
p 1～p 2	令和7年度 第1回代議員会・研修会報告
p 3～p 4	野中地区農村環境を守る会（三国：木部地区）活動紹介
p 5～p 6	上安田環境保全の会（丸岡：磯部地区）活動紹介
p 7～p 8	安沢アグリ・エコ・プロジェクト（春江：西部地区）活動紹介
p 9～p 10	上関農地保全会（坂井：大関地区）活動紹介
p 11～p 12	令和7年度 獣害対策連絡会議・長寿命化現地踏査
p 13～p 14	教育連携！ 夢追い人！ 応援人！

令和7年度 第1回代議員会 ハートピア春江小ホール (2025/6/26)



出席者 代議員 128集落 (出席(参加)) / 129集落
参加者 217人 (実務者等を含めた総参加数)

承認第1号 事業報告及び収支決算の承認 . . . 承認
議案第1号 多面的機能支払交付金 環境負荷低減のクロスコンプライアンス
(みどりチェック) チェックシートについて . . . 議決



横山議長 議事進行



来賓 大久保部長・竹内課長・大西課長

研修会 令和7年度 改正のポイント ハートピア春江小ホール (2025/6/26)



講師 福井県坂井農林総合事務所
農村整備部 計画管理課 加藤 佳恵 主任

国：増進加算の**対象活動を追加**します。

資源向上支払（**長寿命化**）の**交付単価を見直**します。

環境負荷低減のクロスコンプライアンス（**みどりチェック**）が**事業要件化**されました。

県：農用地への **侵入路の補修・再構築** が交付金活用拡大されます。

水路等への **昇降用階段の新設・更新** が交付金活用拡大されます。



講師：加藤主任



定池副会長 司会進行

野中地区農村環境を守る会

代表 田端 昭雄

1. 集落委員会の概要

当地区は三国町南東部の坂井町との境界で、兵庫川下流域の部荘排水路末端に位置しています。農用地等の維持・改良は生産組合（平成10年設立）が主体になり、活動を行っています。

- ・設 立 平成19年
- ・構 成 員 農家 14戸／非農家 5戸
区外者 4戸
- ・役 員 会長1名 実務者2名
- ・構成団体 自治会・生産組合・青壮年会
婦人会・子供会
- ・会 議 役員会2回／年・
全体会2回／年
- ・対象施設 水田34ha 農道2.0km 水路3.1km
- ・活動内容 農道・水路法面の草刈り、排水路法面の防草シート設置
排水路の泥上げ、圃場・農道の空き缶・ゴミ拾い、花壇整備
施設（農道・排水路など）の定期機能点検及び補修



2. 集落委員会で困っているところ

○土地改良区画整備事業から数十年経過し、畦畔法面から排水路への漏水対策として、現在、管排水路整備を行っているのですが、**区外隣接の排水路に関しては事業化ができていない状況**になって、漏水管理対応や改良工事対策（長寿命化）を役員会・全体会において協議している。

○生産組合事業運営において、効率化（圃場の集積・作業の機械化など）を主体に進めてきた為、**農作業に関わる（特に女性・子供）機会が少なくなり、農地・農業への関心が低下（非農家の増加）**している。

3. 後継者育成について、工夫しているところ

○坂井市が運営している**自治サボに各戸登録してもらって、区内行事・生産組合活動などを発信し、活動の認知と活動への勧誘**をしている。※紙通知もあります。

○集落活動等の活動内容をできる限り細分化し、どの年代の方でも参加できる工夫をし、**熟練者（ベテラン）とのペアリングも取り入れて、食わず嫌いを少なくする。**

4. 集落委員会の活動状況

管排水路防草シート設置



水路の泥上げ



水路法面の草刈り



機能点検・診断



花壇 整備



排水路・農道の清掃



5. この事業を通じて

地域・集落民とのコミュニケーション（見ること・知ること・体験すること・話すこと）
を取れる活動なるべく多く企画し、持続可能な農業活動や地域環境保全を実践し、次世代に繋げていきたい。

上安田環境保全の会

代表 西出 厚一

1. 集落委員会の概要

当集落は丸岡町の南部に位置し、国道8号線が地域内を南北に通っています。また、近くには磯部小学校と丸岡南中学校があることや、福井市大和田地区まで約3.5kmなどと比較的生活の利便性の高い場所に位置していると思います。その結果、昭和46年に完工した耕地整理後に宅地化も進み、現在は97戸と往時の約2倍となっています。

設立	平成19年
所在地	坂井市丸岡町上安田
役員	代表・会計・事務局 各1名 委員12名
構成団体	自治会・農家組合
対象区域	2,687a
活動内容	機能診断（施設点検） 用水路の水揚げとゴミの除去 草刈り 防草シート敷設 植栽・除草活動 用排水路の泥上げ



2. 活動区域や農家の現状

圃場は国道8号線により東西に分断されていることから、東西圃場の中央に農振農用地区域の除外地が存在し、活動内容や活動区域の選定が難しいことが挙げられます。

ほとんどの圃場は集落外の担い手により耕作されており、自分で耕作している農家は一握りとなってきています。集落内耕作者の平均年齢も高くなってきて、いずれ全ての圃場は集落外の担い手に頼らざるをえない状況と考えられることから、**老朽化した用排水路等の改善や維持管理活動が後何年やって行けるのか**が大きな問題と考えられます。

3. 後継者育成について

農地水広域協定に参加した当時から役員・委員をしている人がほとんどで、交代で区長・副区長や区長経験者、農家組合長などを委員としてお願いしている状況です。**今後、女性の委員を設けるように努めていきたい**と思います。

設立当初は植栽活動などでは老人会の御婦人方も参加しておりましたが、老人会が解散してからは女性の参加は一段と少なくなっています。**最近、宅地造成して転入された皆さんにも作業案内を配布しながら、地域の環境保全について考える機会を持っていただけるよう**をお願いしているところです。

4. 活動状況

(1) 機能点検



(2) 水揚げ



(3) 植栽・除草活動



(4) 防草シート貼り



(5) 江刈り



(6) 泥上げ



5. この事業を通じて

人間関係が希薄化してきている中で、環境保全活動を通して日頃のコミュニケーション不足を補いながら、地域の将来を共に考え、共に支え合える地域の構築の一助となることを願っています。

安沢アグリ・エコ・プロジェクト

代表 矢尾 正男

1 集落委員会の概要

会長				○役員会は年 2 回程度 ○基礎的な保全活動 ・機能点検（活動に反映） ・泥上げ、草刈、草取り ・防草シート張り ○資源の質的向上を図る共同活動 ・水路農道の老朽箇所軽微な補修 ○長寿命化事業 ・水路の修繕工事 ○農村環境保全事業（新規事業） ・安沢ビオトープ公園管理
副会長	監査	会計	土地改良 総代	
役員				
区 長	副 区 長	農家組合長	副農家組合長	

構成戸数 ; 51 戸（農家 12 戸・非農家 39 戸）

対象施設 ; 水田約 43ha・農道約 3 k m・水路約 6 k m

当地区全員参加の泥上げは農家組合への協賛また、缶拾い・草刈は区への協賛で協力しています。

その他の少人数作業（草取り・草刈・泥溜めの泥上げ・農道や水路の軽微な補修）5～12 人の人集めは農地水で行っています。

2 集落委員会活動で困っているところ



ブリッジの裏側鉄筋が見え



土地改良後 50 年以上経過し水路破損・水路のブリッジ破損など沢山の修理箇所があります。

3 後継者育成について、工夫しているところ

次期後継者と思われる方には、この安沢・エコ・プロジェクトと区との関わり方について事あるごとに説明しています。また、研修会ごとに積極的に参加をお願いしています。

また、この事業に対しての意識が薄い区民の育成にも目を向けて取り組んでいきたいです。

4 集落委員会の活動状況

排水路清掃



区民全員参加ゴミ拾い



草刈り



草取り



防草シート張り



水路の軽微な補修



長寿命化による排水路工事



除草剤散布



5 この事業を通じて・・・

安沢アグリ・エコ・プロジェクト発足(2014年)から、11年が経過し、今後の組織を考えると10年前も現在も農地水の執行役員に参加して農地を守ろうという意識が薄い状況は何も変わってはいません。変わったのは屈強な人達がリタイアし半面若い人達が応援してくれるようになったことです。しかし組織運営の役員勧誘となるとなかなか難しいです。

当地区は区内に大規模経営の営農組織があつて、30年前45軒あつた農家も今では蔵前検査で米を出す農業者は3人になり、それも風前の灯です。組織発足当時は限られた予算で出来るだけ多く施工しようと、いろんな会社へ見積もりを依頼し奔走したことが思い返されます。

今年は当地区内に微小生物生息地(ビオトープ)が皆さんの協力により作られるようになりました。このビオトープを通して区民の意識改革につながり環境保全に拍車がかかることに目を向けさせていきたいです。

今後は、現在は無理でも今後の米価の変動や社会情勢で後継者が出来るものと確信しています。

上関農地保全会

代表 友田 博道

1. 集落委員会の概要

当地区は、坂井町の東部「関郷」に位置し、丸岡町からあわら市に至る長屋街道と県道29号線（いわゆる空港道路）に挟まれた水田単作地域であります。東西1.35km、南北1.25kmの範囲に水田約52ha、広々とした田園の景観は、典型的な農村風景といえます。

設立 平成29年

構成 上関区46戸の世帯のうち農業者は12戸

役員 代表1名、副代表1名、会計1人、記録1人

対象地域 水田52ha 水路（開水路）6.4km（パイプライン）9.1km
農道 6.8km

活動内容 排水路泥上げ、空き缶ゴミ拾い、防草シート貼り、機能診断、
農道・水路・遊休田の草刈、異常気象時見回り、役員会は保全活動後に随時開催



2. 集落委員会活動で困っているところ

- ・当集落での（春・秋祭り準備、夏の社会奉仕活動等）イベントに連動することで、全戸参加を目指しています。ほぼ9割以上の参加率を維持できています。
- ・若い世代（子供会や子育て家族）の参加を目指し、BBQ大会や用水路の生態調査に取り組んできました。ただし、コロナ過以降は、天候不順等のアクシデントもあり、ここ2年実施できていないので、なんとか復活を切望しています。
- ・今年6月の道路や農道・水路の空き缶拾いは、子供達や女性の参加が多く、集落内の3世代交流のよい機会になりました。

3. 後継者育成について工夫しているところ

- ・農地水活動は、平成29年から数えて令和7年は9年目になりました。良いも悪いも、役員は不動のメンバーです。農家組合長、区長経験もあり、[過去のいろいろの課題に取](#)

り組んでいた経験も活動の骨格となっています。しかし、60～70代となり、後継者への引継ぎは必須の課題です。**令和7年度から、30代の若手が記録係りとして活動を手伝ってくれています。**徐々にメンバーが増えていけばいい、と思っています。

4. 集落委員会の活動状況

・3月の水路の泥上げが、隣接集落との共同作業として7箇所の排水路（A）、および集落単独で8箇所の排水路（B）が活動対象になります。1日で4時間の活動で、A B全箇所の泥上げ作業は負担が大きくなります。**令和6年度の機能診断を2～3月で2日に増やし、うち1日はBの8箇所でそれぞれ数ヶ所の泥の堆積状況を調査して(写真)、4箇所の泥上げを実施しました。**泥の堆積状況に応じて隔年で実施することで、作業時間を調整しました。作業のメリハリをつけて、参加者の負担を減らしました。

・農地水の活動は、集落の共同活動を、農道や水路に注目すると、先祖代々守ってきたすばらしい集落の景観と、動植物の多様性が実感できる機会になりました。

・集落にも、老老世帯や独居者も少なくないが、**一方で多世代の参加もあり、皆が顔を会わせる良い機会になっています。**

・これからも、集落が「かけがい」のない大切な居場所を守っていく活動を続けていくことに皆で取り組んでいきたいです。



機能診断 2月の雪の日の土砂堆積調べ



3月 水路の泥上げ



6月 道路の空き缶拾い



11月 水路法面の防草シート貼付



11月 水路の補修

令和7年度丸岡地区の里山近隣を中心とした獣害対策連絡会議(2025/4/21)



出席者 30名 (19集落委員会・獣害会長・坂井市・広域協定役員・事務局)

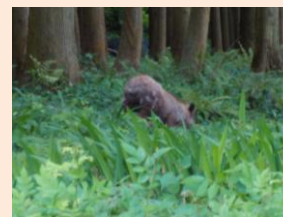
集落の主な意見：

- ・昨年度は、イノシシを6～7頭捕獲した。本年度は、固定防護柵の補修を行いたい。
- ・忌避剤を電気柵周辺に使用した。効果の検証は今後である。
- ・地域全体で防護柵の点検を行っている。
農業者だけではなく、集落全体の協力を得て防護柵を管理している。
- ・昨年度の会議でアドバイスを受け、侵入路となっている防護柵の下をコンクリート補強した。現在、侵入の様子はみられない。
- ・広域協定の固定防護柵周辺整備支援に対する活動費20万円はありがたい。

まとめ：

- ・三年度に渡る継続的な会議となり、会議自体の効果も徐々にあると感じました。
- ・集落委員会の地域を守る困難で大変な活動と感じますが、会議と支援で活動の元気効果はあるように感じました。
- ・野中山王～長畝～竹田、川上～坪江～乗兼の基幹道路沿いの桜と水仙植栽など花のある景観形成対策は、集落を超えた繋がりを生み出し、区域全体の一体化を醸成する可能性があると感じました。

長寿命化の現地踏査 49集落委員会（上安田環境保全の会:丸岡 2025/5/22 撮影）



ニホンカモシカ？



現地踏査のご協力有難うございました。多様なご意見頂きました。

踏査中に“ニホンカモシカ？”が現れました。豊かな自然環境を改めて感じました。

長寿命化した農道(舗装)での田植え風景（加戸の美農里を守る会地係:三国 2025/5/15 撮影）



田植えの方からの声：

撮影許可のため、坂井市農地水広域協定を告げ、広報誌第20号をお渡し、記事掲載のお願いをしたところ、女性の方から、「私、広報誌いつも見ています。」の声。有難うございます。

夢 進 い 人

育つん田 地域と学校が連携 子供たちを見守り育てます。

～ 下兵庫むらづくり委員会 代議員 鈴木 広浩 氏 他 ～



坂井町下兵庫（下兵庫むらづくり委員会）は、平成22年度から農用地を利用した「育つん田」を兵庫小学校と連携し実施しています。この事業は、**地域の方との交流**や**米作りの大切さ**を学んでほしいとの思いから、むらづくり委員会が中心となり開催しています。大人たちは子供たちとの触れ合いと交流を通じ、**子どもたちを身近な存在**と感じ、見守りや心遣いを自然に行います。子供たちは、顔見知りの大人に対し、**元気と笑顔のあいさつ**を、日々、明るく楽しい態度で伝えます。

田植え当日、子ども達の甲高い悲鳴と驚きに対し、大人たちの**満足の笑顔**が広がりました。

地域の宝は、いうまでもなく、**子ども達です**。未来の継承者も、**子ども達です**。代表は、農村や地域の良さを、**ずーっと伝えていくため**、「育つん田」は継続していきたいとのことです。

多面的機能支払交付金制度でも、地域と教育との連携は重要とされています。

未来に、みんなでつなぐ、地域一丸となった共同活動に心からお礼申し上げます。



応援人

育つん田 学校と地域が連携 笑顔で子どもの成長を見守ります。

～ 坂井市立兵庫小学校 加藤 校長 ～



2025/5/14 撮影

坂井市立兵庫小学校（坂井市坂井町）は、教育目標を「仲間や地域と協働し、人間性豊かな兵庫っ子の育成」、めざす学校像を「笑顔の登校と感謝の下校」とし地域に愛される学校も掲げています。

校長先生は、学校と家庭と地域がそれぞれの立場や環境の中で協力・連携し、兵庫っ子のことを第一とし成長を見守ることが重要と述べられています。

「育つん田」は、まさに地域特性を生かした学校づくりで、ふるさと教育にも大きな役割を果たしており、むらづくり委員会の皆様に大変感謝しているとのこと。

終了後に、大きなアクションで子どもたちに、活動の意義や地域への感謝の言葉を述べられていました。この事業についてお聞きすると、「多くの地域の方々に子どもたちと学校は見守られている。大変ありがたい。」とおっしゃられていました。



「育つん田」は、笑顔のある学校と思いのある地域との連携です。素晴らしい「兵庫っ子」が育っていくことを願うとともに、学校の理解と協力に心から感謝しお礼申し上げます。



西太郎丸美土里会
初めての、
花壇づくりです。

花は、人の心を和ませ癒し安心させます。

花壇は、人々の目を楽しませ、様々な人の出会いと交流の場を創ります。(2025/4/27 撮影)



畦畔の花壇づくり。有難うございます。



花壇づくり作戦会議 (2025/4/13)

令和7年4月27日、**女性5名の協力を得て**、初めての花壇づくりを行ったとお聞きします。勿論、役員や若手も協力し、畦畔を耕し整地したとのことです。**地域全体が協力し、交流し、人々の目を楽しませる花壇づくり**は大きな意味と価値のあるものと思われます。

女性や多様な方々の協力とチームワーク、多くの人々を楽しませ和ませる共同活動に心から感謝いたします。

発刊：坂井市農地水広域協定（坂井市役所内）

坂井市坂井町下新庄 1-1

☎0776-67-2351